

・HIV 検査を受けた場所については、複数回答で表 4 のとおりであり、「病院・診療所・クリニック」が 60.3%と最も高く、次いで「大阪市北区・中央区・淀川区保健福祉センター」が 12.7%であった。3 年以上前に受検した人が多かったことから、当時他区で実施していた HIV 検査を受けた人の回答が正確に反映されなかった可能性がある。【問 10】

表 4 性年代別 HIV 検査を受検した場所

		人数・%	病院・診療所・ クリニック	大阪市北区・中央区・ 淀川区保健福祉セン ター	府外の保健所・ 保健福祉センター	府の保健所・ 保健福祉センター	shotCAST なんば	郵送検査	その他
全体(回答数)		63 人 100.0%	38 60.3%	8 12.7%	6 9.5%	4 6.3%	4 6.3%	1 1.6%	4 6.3%
性別	男性	31 人 100.0%	14 45.2%	6 19.4%	5 16.1%	3 9.7%	2 6.5%	0 0.0%	2 6.5%
	女性	32 人 100.0%	24 75.0%	2 6.3%	1 3.1%	1 3.1%	2 6.3%	1 3.1%	2 6.3%
性年代	男性 20-29 歳	0 人 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性 30-39 歳	5 人 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
	男性 40-49 歳	10 人 100.0%	6 60.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性 50-59 歳	12 人 100.0%	5 41.7%	2 16.7%	3 25.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%
	男性 60 歳以上	4 人 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	女性 20-29 歳	3 人 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
	女性 30-39 歳	16 人 100.0%	13 81.3%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%
	女性 40-49 歳	10 人 100.0%	7 70.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%
	女性 50-59 歳	1 人 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	女性 60 歳以上	2 人 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

・「自分自身が HIV 検査を受ける場合、どのような時間帯が受けやすいと思うか」（複数回答）については、表 5 のとおりであった。【問 11】

現在、「大阪市北区・中央区・淀川区保健福祉センター」では平日の 9 時 30 分～11 時で検査を実施しているが、23.6%が受けやすい時間帯としていた。淀川区保健福祉センターでは月曜日に 14 時～15 時 30 分で検査を実施しているが、21.6%が受けやすい時間帯としていた。

委託検査場の「chot CAST なんば」では、平日の火曜日・木曜日の 18 時～20 時及び土曜日の 14 時～16 時、日曜日の 14 時～16 時に検査を実施しているが、各々 30.6%、34.2%、35.0%が受けやすい時間帯としており、3 区の保健福祉センターより高い割合であった。

今回の結果より、現在大阪市で実施している HIV 検査の時間帯は回答者が受けやすいと思う時間帯に概ね設定されているが、他の時間帯を望む割合との差はわずかであったことから、多様な検査機会の確保が必要であり、実績を踏まえながら、時間帯について、さらに検討する必要がある。

表 5 HIV 検査を受検しやすい時間帯

受けやすい時間帯	人数	割合	大阪市で実施している検査時間帯
日曜日の 14 時～16 時	175 人	35.0%	chot CAST なんば
土曜日の 14 時～16 時	171 人	34.2%	chot CAST なんば
平日の 18 時～20 時	153 人	30.6%	chot CAST なんば(火・木のみ)
土曜日の 18 時～20 時	129 人	25.8%	実施なし
日曜日の 18 時～20 時	120 人	24.0%	実施なし
平日の 9 時 30 分～11 時	118 人	23.6%	大阪市北区・中央区・淀川区保健福祉センター
平日の 14 時～15 時 30 分	108 人	21.6%	大阪市淀川区保健福祉センター(月のみ)
その他	17 人	3.4%	—

(5) 感染予防策に関すること

・過去 6 か月間のコンドームの使用については表 6 のとおりであった。男性との性行為において必ず使ったが男性で 30.0%、女性で 13.4%であった。【問 15・16】

・MSM でコミュニティペーパーを見たことがある者はコンドームを「必ず使った」、コミュニティセンター「dista」を見たり使ったりしたことがある者もコンドームを「必ず使った」としており、これまで実施している MSM 対策の効果があったものと考ええる。

・MSM 対策としては、コミュニティペーパーやコミュニティセンター「dista」の認知度を増やすような働きかけを行うとともに、全体としてはコンドームの使用率が向上するような取り組みが必要である。

表 6-1 男性とセックスをする人のコンドーム使用状況

選択肢	男性	女性
男性とセックスをしていない	50.0%	46.0%
必ず使った	30.0%	13.4%
使うことが多かった	10.0%	3.5%
五分五分の割合で使った	—	1.5%
使わないことが多かった	—	8.4%
全く使わなかった	10.0%	27.2%

表6-2 女性とセックスをする人のコンドーム使用状況

選択肢	男性	女性
女性とセックスをしていない	27.6%	20.0%
必ず使った	24.0%	—
使うことが多かった	13.0%	20.0%
五分五分の割合で使った	5.9%	—
使わないことが多かった	11.0%	20.0%
全く使わなかった	18.5%	40.0%

(6) HIV 感染が身近な問題であるという認識

「あなたは、友達や知り合いに HIV に感染している人はいると思いますか。」については、「いないと思う」もしくは「いない」の 60.2% に比べて、「いる」もしくは「いると思う」が 7.0% と低く、HIV 感染が身近な問題であるとは捉えられていない実態がわかった。【問 5】しかしながら、20 歳代では「いると思う」が 2 割程度あり、他の年代より高い傾向にあった。これは、学校教育におけるエイズ教育が充実した時期と一致しているため、今後、市民が HIV 感染症を身近な問題と捉えられるよう、教育や研修の機会を提供する必要がある。

表7 性年代別 友達や知り合いに HIV に感染している人がいるという認識

	全体	性別		年代								
		男性	女性	20- 24 歳	25- 29 歳	30- 34 歳	35- 39 歳	40- 44 歳	45- 49 歳	50- 54 歳	55- 59 歳	60 歳 以上
人数(人)	500 人	275 人	225 人	11 人	29 人	48 人	66 人	84 人	83 人	63 人	47 人	69 人
いる	1.6%	1.1%	2.2%	0.0%	0.0%	4.2%	4.5%	0.0%	2.4%	0.0%	2.1%	0.0%
いると思う	5.4%	5.8%	4.9%	18.2%	20.7%	4.2%	7.6%	7.1%	3.6%	1.6%	2.1%	1.4%
いないと思う	43.2%	38.9%	48.4%	45.5%	55.2%	31.3%	48.5%	58.3%	41.0%	28.6%	46.8%	36.2%
いない	17.0%	17.5%	16.4%	0.0%	3.4%	25.0%	18.2%	7.1%	15.7%	27.0%	19.1%	21.7%
わからない	32.8%	36.7%	28.0%	36.4%	20.7%	35.4%	21.2%	27.4%	37.3%	42.9%	29.8%	40.6%

調査票

問1 あなたの年齢をお答えください。

() 歳

問2 あなたの性別をお答えください。

1 男性 2 女性 3 その他 ()

問3 以下のことについて、あなたの判断で「正しい」「誤り」「わからない」のいずれかを選択してください。

	(1) 正しい	(2) 誤り	(3) わからない
(1) 通常のH I V検査では、感染から2～3ヶ月以上経過しないと、感染しているかどうかわからない。	1	2	3
(2) H I V即日検査や郵送検査キットでは、検査結果を確認するため病院などで再度検査が必要になる場合がある。	1	2	3
(3) 性感染症に感染していると、H I Vに感染しやすくなる。	1	2	3
(4) H I Vに感染したら、必ずエイズを発症する。	1	2	3
(5) H I V感染症は医療の進歩で、服薬を継続することでエイズ発症がコントロールできる病気となった。	1	2	3
(6) H I V感染により免疫力が低下すると、さまざまな感染症や悪性腫瘍（がん）にかかりやすくなる。	1	2	3
(7) 現在のH I V感染症の主な感染経路は性的接触である。	1	2	3
(8) H I V検査では、感染して症状が全くない場合でも、精液や膣内分泌液には感染源となるウイルスが含まれている	1	2	3
(9) H I V感染の予防はコンドーム使用が極めて有効である。	1	2	3
(10) 大阪府では昨年一年間の新規H I V感染者／エイズ患者の報告数は「2日に1人」の割合である。	1	2	3
(11) 平成 20 年以降、H I V検査を受けた人は減少している。	1	2	3

問4 H I Vや性感染症について、相談できる場所（電話相談など）を知っていますか。

1 知っている 2 知らない

問5 あなたは、友達や知り合いにH I Vに感染している人はいると思いますか。

- 1 いる 2 いると思う 3 いないと思う 4 いない 5 わからない

問6 過去6カ月以内に“H I Vに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか。最も近いものを選択して下さい。

- 1 よくあった 2 時々あった 3 あまりなかった 4 全くなかった

問7 これまでにH I V検査（エイズ検査）を受けたことがありますか。

- 1 ある 2 ない⇒問11にお進みください

問8 一番最近にH I V検査（エイズ検査）を受けたのはいつでしたか？

- 1 過去1年未満⇒約（ ）ヶ月前 2 過去1年以上～3年未満 3 過去3年以上前

問9 検査を受けた理由は以下のどれにあてはまりますか。（あてはまるものすべてを選択して下さい）

- 1 男性との性的接触による感染またはその疑い
2 女性との性的接触による感染またはその疑い
3 注射針などの共用による感染またはその疑い
4 医療従事者としての針刺しなどによる感染またはその疑い
5 その他（ ）

問10 これまでにH I V検査（エイズ検査）を受けたことがあるのはどこですか。

（あてはまるものすべてを選択して下さい）

- 1 c h o t C A S Tなんば 2 大阪市北区・中央区・淀川区保健福祉センター
3 府の保健所・保健福祉センター 4 府外の保健所・保健福祉センター
5 病院・診療所・クリニック 6 郵送検査 7 その他（ ）

問11 あなたがH I V検査（エイズ検査）を受ける場合、どのような時間帯が受けやすいと思いますか。（あてはまるものすべてを選択して下さい）

- 1 平日の9時30分～11時 2 平日の14時～15時30分 3 平日の18時～20時
4 土曜日の14時～16時 5 土曜日の18時～20時 6 日曜日の14時～16時
7 日曜日の18時～20時 8 その他（ ）

問12 あなたはこれまでにセックスをしたことがありますか。

- 1 ある 2 ない⇒問17にお進みください

問13 あなたがこれまでにセックスをした相手の性別は、以下のどれに当てはまりますか。

- 1 男性のみ 2 女性のみ 3 男性と女性の両方

問14 あなたはこれまでにクラミジアや淋病、梅毒などの性感染症にかかったことはありますか。

- 1 ある 2 ない

問15 過去6ヶ月間に男性とセックスをしたとき、コンドームを使いましたか。

- 1 過去6ヶ月間に男性とセックスをしていない 2 必ず使った
3 使うことが多かった 4 五分五分の割合で使った 5 使わないことが多かった
6 全く使わなかった

問16 過去6ヶ月間に女性とセックスをしたとき、コンドームを使いましたか？

- 1 過去6ヶ月間に女性とセックスをしていない 2 必ず使った
3 使うことが多かった 4 五分五分の割合で使った 5 使わないことが多かった
6 全く使わなかった

問17 あなたは以下の印刷物やホームページを見たり、場所に行ったことがありますか。(あてはまるものすべてを選択して下さい)

- 1 大阪市ホームページ 2 大阪府ホームページ(PC用) 3 大阪府ホームページ(携帯用)
4 エイズのはなし 5 エイズのはなし(高校生のあなたへ) 6 エイズ予防啓発ポスター



- 7 南界堂通信 8 コミュニティペーパー 9 コミュニティセンター (Cho tCASTなんば)



- 10 コミュニティセンター (dista) 11 HIVマップ 12 HIV検査・相談マップ

